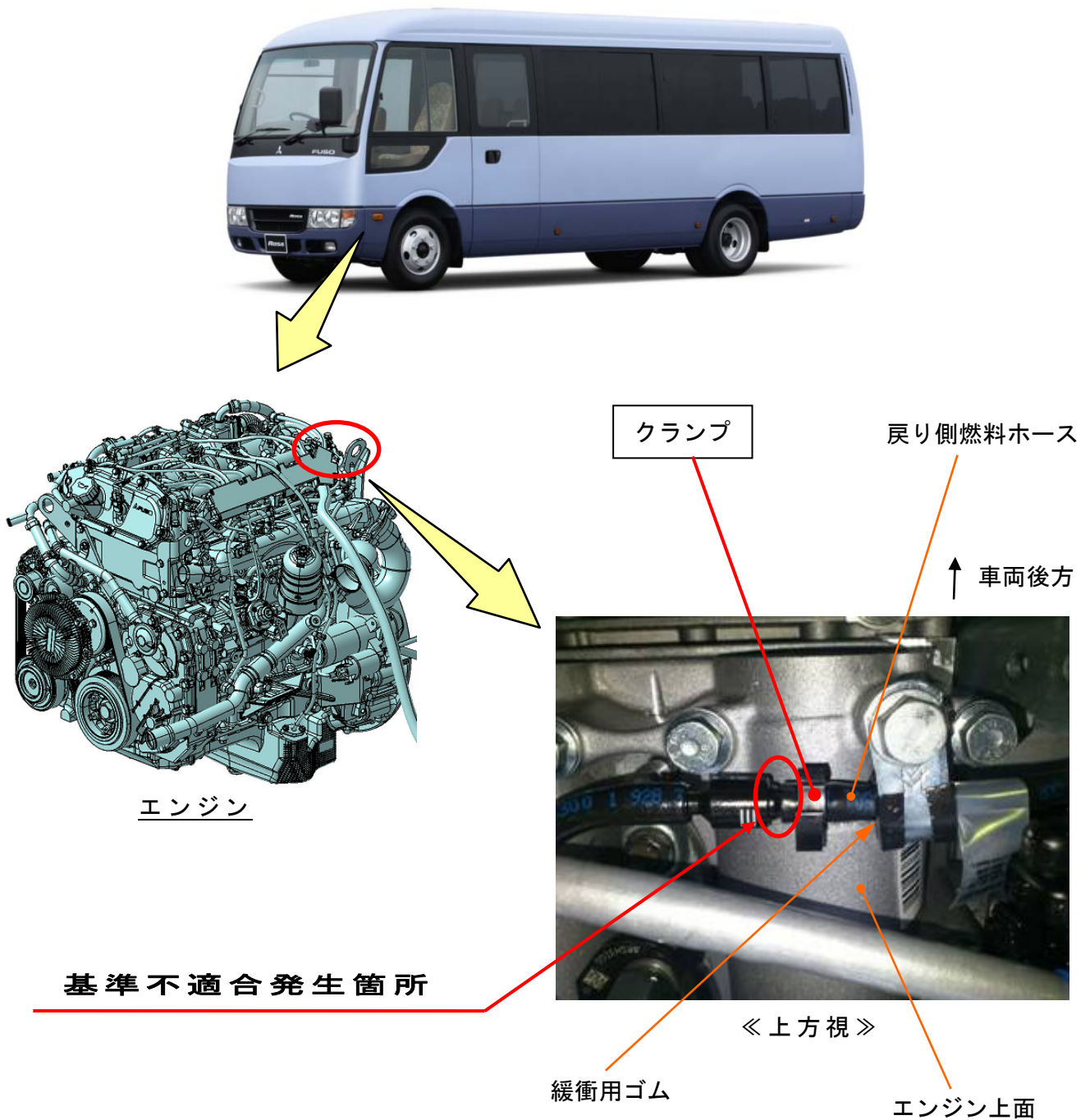


改善箇所説明図②



小型バスにおいて、戻り側燃料ホースをエンジン本体に固定する緩衝用ゴムの製造が不適切なため、ゴムから溶出した物質（フタレート）による影響で燃料ホースがゆるみ、燃料ホースが接続先（オリフィス）から外れて燃料が漏れ、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、戻り側燃料ホースの接続部にクランプを追加する。

注：□ は、追加する部品を示す。

識別：作業完了車には、車両左後方点検リッド裏に「LB33」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。